

# 相続手続きサポート好調

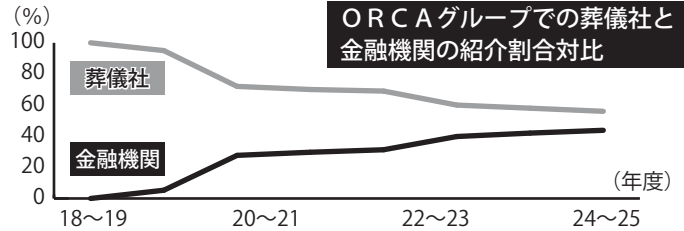
## ORCAグループ

### 預金流出防止に貢献

【広島】相続関連サービスを提供するORCAグループ(鳥取県)は、「相続手続きトータルサポート」の利用件数が伸びている。提携先の中国銀行では、

数年前に比べて利用件数が10倍以上に増加した。顧客の相続手続きにかかる負担を軽減することが好評で、預金の流出防止につながっているという。

提携先の金融機関



は、相続が発生した顧客に対して同サービスを紹介。相続人は、行政書士法人ORCAの談を受けられ、手続きのポイントを整理できる。遺産分割協議書の作成や戸籍の収集など有料サービスも利用でき、「戸籍の集め方や不動産の相続登記など、銀行のパッケージサービスでは対応しきれない部分的なニーズにも応えられる」(中国銀)ことが特長だ。

ORCAグループは2019年に山口フィナンシャルグループと提携したことを契機に、事業を全国へ拡大。地方銀行や第二地方銀行のほか、信用金庫など30先以上と提携す

る。全国に約60人の行政書士を配置し、顧客の相談に乗っている。地域金融機関にとって、相続に伴う預金流出は深刻な経営課題だ。従来、具体的な対策が乏しかったが、ORCAグループのサービスを通じて、「相続人の取引金融機関に対する満足度を高められる。相続預金に加え、他金融機関の預金流入も期待できる」(信金関係者)という。

ORCAグループによれば、地域金融機関10先以上が提携に興味を示しているという。倉敷昭久・代表行政書士は「各地の金融機関と協力して預金をその地域に残すお手伝いをしたい」と話す。

